

🌻ほっこりする話

先日、地域の方から学校に電話があり、ほっこりできた話があります。

その方がおっしゃるには、本校の児童が下校中、横断歩道を渡ろうとして待っていたので車を運転中のその方が停車したところ、横断歩道を渡り終わってから振り返り、丁寧に礼をしてくれたそうです。その方は、横断歩道で一時停止して、このように礼をしてもらったのは初めてのことで、とても感動し、学校に電話をしてくださったということでした。場所は、町役場と県営住宅の間の道路で、水色のランドセルの女の子だったということです。坂町は、「礼節」を基本とした教育を推進しています。この児童は、自分のために車を停めてくださった方に感謝の気持ちを表そうとして、礼が自然にできたのだと思います。それは、日頃からこのような礼節を身に付けているからこそなせる行動です。

私自身も最近嬉しいことがありました。朝、町役場前の国道の横断歩道に立って児童の交通安全を見守っているのですが、「いつもありがとうございます。」と登校中の児童がお礼を言ってくれました。

これからも、一人でも多くの児童が自然にふるまえるような「礼節」を身に付けられるように取り組んでまいりたいと思います。

🌻音読の大切さ

新年度が始まり、真新しい教科書をしっかり持って音読をする姿が見られるようになりました。コロナ禍以降、感染レベルによっては声を出す活動が制限されるようになり、音読もその一つです。そんな受難の音読ですが、実はとても重要な学習活動です。



脳トレ等で有名な東北大学の川島隆太博士によると、音読する時、脳の神経細胞の7割以上が働いており、人間として最も大切な、思考したり覚えたりする働きをする前頭前野が活発に働いているそうです。しかも、黙読より音読の方が、脳がより活発に働くということです。考えてみますと、音読は口から言葉にアウトプットすると同時に、耳から音としてインプットも行われます。これほど効率よく脳を活性化できる学習活動はないと言ってもよいでしょう。どうかご家庭でも子供たちの音読の上達にご協力いただきますようお願いいたします。